

Sports Fukushima

スポーツふくしま

44
2021.3

(公財)福島県体育協会 〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなで
スポーツを!
Let's play sports together!

巻頭言

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での 本県選手の活躍を期待して

2020年夏に開催予定であった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、コロナ禍の影響により今年7月に延期となり、大会の組織委員会は、現在、開催に向けてその対応に追われています。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大には歯止めがかからず、政府は令和3年2月2日に東京都をはじめ10都府県に対し、緊急事態宣言の延長を決めました。世界的にも感染が拡大していることから、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催については、不透明感が拭えない状況ではありますが、「復興五輪」を大会理念に掲げる本大会が東日本大震災並びに原発事故から10年となる節目の年に開催されることを福島の復興をアピールできる絶好のチャンスととらえ、世界へ発信していければと考えています。

そんな中、東京大会の出場権をかけた熱い戦いは様々な競技で行われています。その一つに、先日、第104回日本陸上競技選手権大会・長距離種目兼東京2020オリンピック競技大会日本代表選手選考競技会が行われました。この大会には、現在は旭化成に所属している相澤晃選手（学法石川卒）が10000mにエントリーしており、今大会で東京大会の内定を勝ち取るためには、標準記録である27分28秒00以上の走りをして、優勝しなければならないという条件がありました。相澤選手は、レース中盤まで5、6番手の位置で冷静に状況を読み、7000m過ぎにはペースを落としていく選手がいる中、先頭に食らいつき、最後はオープン参加の外国人選手も抜き去り、見事標準記録を突破する、日本新記録のタイム（27分18秒75）で優勝を果たしました。相澤選手は、「東京オリンピックが延期になって、すごく自分に運が向いてきたなと感じていた。東京オリンピックでは、自分にとって故郷の須賀川市出身である円谷幸吉選手が前回の東京大会（1964年）で10000mとマラソンで活躍されていたことで、何かの縁を感じていた。自分も10000mで入賞できるように、これからもう一段階、もう二段階、しっかり自分自身を高めていきたい」とコメントしています。

また、そのほかの本県関係の選手に関しては、すでに

レスリング競技の皆川博恵選手（クリナップ）やカヌー競技の宮田悠佑選手（安達高校卒）の出場が内定していますが、代表が確実視されているバドミントン競技

の桃田賢斗選手、渡辺勇大選手、東野有紗選手（3名とも富岡高校卒）やハンドボール競技の笠原謙哉選手（聖光学院卒）の活躍も大いに期待されています。

一方、パラリンピックに目を向けると、すでに柔道競技の半谷静香選手（トヨタグループ）、陸上競技の佐々木真菜選手（東邦銀行）の出場が内定していますが、現在日本代表として活躍されているブラインドサッカーの加藤健人選手（聖光学院卒）や車いすラグビーの橋本勝也選手（田村高校3年）の活躍が期待されています。その中でも、車いすラグビーの橋本選手は、パワーとスピードが持ち味の攻撃型の選手で、2018年、16歳の時に史上最年少で代表に選ばれ、世界選手権初優勝に貢献し、将来のエース候補といわれているほどの選手であります。

さらに、様々な競技で多くの選手がオリンピック・パラリンピックの大舞台を目指し、しのぎを削り、今まさに戦っております。一人でも多くの本県関係の選手が東京大会に出場できることを大いに期待しております。

終わりに、冒頭でも申し上げましたが、私たちが今直面している新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの人々の生命が危機に瀕し、経済活動が停滞し、人々の往来も妨げられている状況ですが、ワクチンの開発・接種により、個人の発症・重症化の予防や社会全体での感染症の流行を防ぐことが期待されています。1日も早くこの事態が終息し、誰もが安心して、そして、安全に大会が開催されることを心から祈念申し上げますとともに、県民の皆様がこれまでどおり、身近なところで安心してさまざまなスポーツ活動に参画できることを切に願っております。



公益財団法人福島県体育協会
副会長 遠藤 均



- P1 巻頭言
- P2 国民体育大会関連情報
- P3 本協会ホームページ紹介
- P4 公益財団法人福島県体育協会 表彰式
- P5 スポーツ団体への活動再開を支援する事業
ふくしまスポーツキッズ発掘事業
- P7 スポーツふくしまライジングプロジェクト「トップコーチ養成事業」
- P8 ふくしまゴルフプロジェクト
- P9 生涯スポーツキャンペーン2020
親子体操教室 & 指導者養成講習会 (in会津若松市)
- P10 あそんで体力アップアップ事業
- P11 公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会
アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- P12 福島県スポーツ指導者研修会(更新研修会)
スポーツ医事・トレーニング相談事業
- P13 認定アスレティックトレーナー養成講習会
- P14 福島県スポーツ少年団関連情報
- P15 指導者・講師派遣補助事業(ふくしま広域SC)
- P16 総合型地域スポーツクラブ紹介
- P17 東京2020オリンピック・パラリンピック関連情報
- P18 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】

右上:親子体操教室 右中央:ふくしまゴルフプロジェクト
右下:あそんで体力アップアップ事業「幼児体操教室」
左上:あそんで体力アップアップ事業「指導者養成講習会」
左中央:令和2年度ふくしまスポーツキッズ発掘事業
左下:公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会

国民体育大会関連情報

国民体育大会とは…

国民体育大会とは、昭和21年から毎年都道府県持ち回りで開催される国内最大のスポーツの祭典です。国のスポーツ基本法第26条に定める重要行事の一つとして、日本スポーツ協会・文部科学省・開催地都道府県の三者共催で行われています。「冬季大会」と「本大会」（夏季・秋季分離時を含む）の競技得点の合計を競い合う都道府県対抗方式で行われ、天皇杯（男女総合成績第1位）・皇后杯（女子総合成績第1位）の獲得を目指し、代表選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い…

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度開催予定であった「燃ゆる感動かごしま国体」の延期にはじまり、「夢！きらリンク愛知国体」・「ぎふクリスタル国体」への本県選手団派遣の中止、「美の国あきた鹿角国体」の大会中止が余儀なくされました。県選手団の皆様にとっては、熱意と使命感をもって準備をしてこられたなかで今回の事態に直面し、戸惑いや失望感でいたたまれないことと推察します。

令和3年度に開催予定の、第76回国民体育大会「三重とこわか国体」及び第77回国民体育大会冬季大会「いちご一会とちぎ国体」・「美の国あきた鹿角国体2022」については開催の方向で調整中です。競技団体の皆様には、今後もこれまで同様に感染予防対策に留意しながらトレーニングに励み、さらなる競技力向上を目指していただくことを希望しています。そして、少しでも早く新型コロナウイルス感染症が収束し、安心してスポーツができるようになることを切に願っています。

「三重とこわか国体」及び「いちご一会とちぎ国体」・「美の国あきた鹿角国体2022」での福島県選手団の活躍を期待しています。今こそ、スポーツと未来へ「さあ！ふくしまプライド！」

過去の福島県選手団人数と成績（平成元年度～）

平成元年度以降の本県選手団の参加人数、獲得した競技得点、天皇杯（男女総合成績）の順位を掲載しました。

	第44回	第45回	第46回	第47回	第48回	第49回	第50回	第51回	第52回	第53回
開催年	(H元)	(H2)	(H3)	(H4)	(H5)	(H6)	(H7)	(H8)	(H9)	(H10)
[夏秋]開催都道府県	北海道	福岡	石川	山形	東四国	愛知	福島	広島	大阪	神奈川
[冬]開催都道府県	北海道	岩手・青森	長野・新潟	山形	青森・鳥取	群馬・宮城	福島	栃木・岐阜	北海道・秋田	岩手
派遣選手団人数	525	559	512	688	646	803	1234	786	746	776
得点	204	265	282	432	581	1419	3751	1063	758	662
天皇杯順位	44位	45位	41位	31位	20位	4位	1位	9位	16位	16位

	第54回	第55回	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	第61回	第62回	第63回
開催年	(H11)	(H12)	(H13)	(H14)	(H15)	(H16)	(H17)	(H18)	(H19)	(H20)
[夏秋]開催都道府県	熊本	富山	宮城	高知	静岡	埼玉	岡山	兵庫	秋田	大分
[冬]開催都道府県	長野・北海道	青森・富山	山梨・長野	北海道・新潟	群馬・北海道	青森・山形	山梨・東京・岩手	北海道・群馬	群馬・秋田	長野
派遣選手団人数	673	692	792	697	654	622	689	591	709	571
得点	658	615	768	411	554	594	617	501	533	459
天皇杯順位	18位	19位	17位	33位	23位	21位	21位	26位	24位	31位

	第64回	第65回	第66回	第67回	第68回	第69回	第70回	第71回	第72回	第73回
開催年	(H21)	(H22)	(H23)	(H24)	(H25)	(H26)	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)
[夏秋]開催都道府県	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井
[冬]開催都道府県	青森・新潟	北海道	青森・秋田	愛知・岐阜	東京・福島・秋田	栃木・山形	群馬	岩手	長野	山梨・神奈川・新潟
派遣選手団人数	555	559	558	580	541	569	531	641	596	518
得点	388	316	327	243	417	423	466	444	359	254
天皇杯順位	35位	43位	40位	43位	35位	34位	31位	35位	41位	44位

	第74回	第75回	第76回
開催年	(R元)	(R2)	(R3)
[夏秋]開催都道府県	茨城	鹿児島	三重
[冬]開催都道府県	北海道	青森・富山	愛知・岐阜・秋田
派遣選手団人数	553	104	
得点	384	23	
天皇杯順位	39位		

…延期
…大会中止または派遣中止

※第75回大会総合成績の取扱いについて

・第75回冬季大会については、成績を確定とし、男女総合成績（天皇杯）及び女子総合成績（皇后杯）の順位については空位とし確定しない。



本協会ホームページについて紹介します！

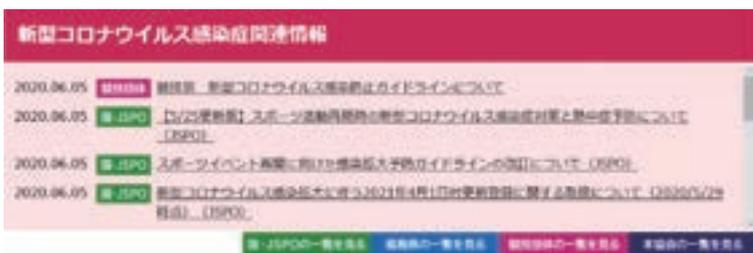


本協会では、事業における様々な情報についてより広く県民の皆様
に知っていただけるよう、平成30年にホームページをリニューアルしました。
以来、年間約20万件のアクセス数があり、県民のスポーツへの興味関心
の高さを感じております。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツ界に
とって、各種大会の中止や運動自体ができない時期がありました。本協
会でも多くの事業が中止や規模縮小などの変更を余儀なくされましたが、
苦しい状況下であってもスポーツとともに前進すべく、新しいキャッチコ
ピー「スポーツと未来へ ふくしまプライド」を作成し、ホームページをさらにリニューアルしました。

本協会では、コロナ禍においても決して変わることのないスポーツの持つ価値・スポーツの持つ力を信じて、前を向いて
頑張っている方々を全力で応援するとともに、スポーツに携わるすべての県民の皆様のために、スポーツや運動にかかわる
各種事業に取り組んで参りました。そしてこれからもスポーツを支援する新しいカタチを追求し、様々な工夫や努力を行い
ながら、スポーツとともに明るい未来へ進んでいけるよう、県民の皆様と一緒に頑張っていきたいと考えております。

本協会では、コロナ禍においても決して変わることのないスポーツの持つ価値・スポーツの持つ力を信じて、前を向いて
頑張っている方々を全力で応援するとともに、スポーツに携わるすべての県民の皆様のために、スポーツや運動にかかわる
各種事業に取り組んで参りました。そしてこれからもスポーツを支援する新しいカタチを追求し、様々な工夫や努力を行い
ながら、スポーツとともに明るい未来へ進んでいけるよう、県民の皆様と一緒に頑張っていきたいと考えております。



ホームページ上をクリックすると



各種関連ページ情報が見られます！

スポーツを支える新しい方策の一つとして、本協会ホームページに、新型コロナウイルス感染症に関わる様々な情報を掲載する
ようにしました。県民の皆様の「知りたい」に応えるべく下記の内容などを随時掲載していきます。

- ① 家庭でもできる運動等の紹介
- ② スポーツ庁や日本スポーツ協会からの最新情報
- ③ 各競技団体が示す、新型コロナウイルス感染防止ガイドライン等
- ④ 福島県内の感染症関連情報等
- ⑤ 本協会の事業等について（変更・延期・中止連絡等を含む）

これらの情報のいくつかは各団体のホームページ等からも入手できますが、本協会のホームページから検索することにより、関連性を
高め、幅広く、簡単に情報が入手しやすくなると思います。また、「家庭でもできる運動」等の紹介ページでは、TV番組や新聞等でも
紹介された誰でも簡単にできる「くねくね体操」や、日本のトップアスリートの育成を目指すハイパフォーマンススポーツセンターが作成し
たアスリート向けのトレーニング動画などをはじめ、国・県・市町村・企業などの様々な情報を掲載していますので、ぜひ御利用ください。



〈「家でも運動しよう」関連動画〉



〈チャリティーポロシャツはこのページをクリック〉

さらに、本協会では、「スポーツと未来へ ふくしまプライド」のスローガンのもと、「チャリティーポロシャツ」を作成しています。この
チャリティーポロシャツは、個人・団体を問わずどなたでも購入ができます。ぜひ一人でも多くの方にこのポロシャツを着ていただき、一
体感を高め、福島県のスポーツを盛り上げていければ幸いです。好きな言葉や団体名等を入れて、チームポロシャツにも御利用できます。
※ポロシャツによる収益は、本協会におけるスポーツ振興事業等のための一助とさせていただきます。

令和2年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

令和2年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、12月1日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンポリウムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より代表者に表彰状が授与されました。受賞者を代表して優秀選手賞を受賞された青木沙弥佳選手(陸上競技)より謝辞がありました。

今年度は例年行われている表彰後の懇談会はありませんでしたが、名誉会長と会長との写真撮影は行いました。今年度の受賞者名簿は下記のとおりです。(敬称省略)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 遠藤 雄一 (福島県ソフトテニス連盟)
- 鈴木 安一 (福島県スキー連盟)
- 大橋 哲男 (会津地域連合会)
- 戸川 稔朗 (福島県テニス協会)
- 山口 幸雄 (福島県ハング・パラグライディング連盟)
- 片山 義雄 (相双地域連合会)
- 山森 祐子 (福島県バドミントン協会)
- 小峰 忍 (福島県スポーツチャンバラ協会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を取った選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|---|---|--|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 武石この実 ((株)東邦銀行) ● 青木沙弥佳 ((株)東邦銀行) ● 紫村 仁美 ((株)東邦銀行) ● 松本奈菜子 ((株)東邦銀行) ● 山内 大夢 (早稲田大学(3年)) ● 佐藤 皓人 (日本大学(3年)) ● 山下 桐子 (筑波大学(3年)) ● 中野 胡桃 (福島成蹊高等学校(3年)) ● 安倍 優紀 (東海大学(1年)) ● 香川 夢花 (福島大学(1年)) <p>ソフトテニス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大槻 麗 (住友ゴム工業(株)) <p>ボート</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 門馬 健将 (明治大学(2年)) ● 小沢 源 (仙台大学(3年)) <p>水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 寺田 拓未 ((株)ミキハウス) <p>自転車競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新田 祐大 (日本競輪選手会福島支部) ● 窪木 一茂 (日本競輪選手養成所) ● 中村 龍吉 (中央大学(2年)) | <ul style="list-style-type: none"> ● 邊見 竜馬 (日本大学(1年)) ● 山崎 歩夢 (福島県立平工業高等学校(1年)) ● 秋元 拓海 (KONA RACING TEAM) <p>バドミントン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塚野美和子 (ACC) ● 遠藤夫美子 (郡山ポピークラブ) ● 増子 トキ (郡山ポピークラブ) ● 高松 悦子 (会津BC) ● 佐久間文子 (双葉クラブ) ● 二瓶 良 (帝京安積高校(教諭)) ● 吉田 邦男 (ゼビオコーポレート(株)) <p>ソフトボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 荒川 めい (日本体育大学(1年)) ● 福田 愛生 (淑徳大学(1年)) <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 穴戸 大輔 (日本大学(4年)) ● 安藤 千鈴 (東京国際大学(2年)) ● 遠藤 梨李 (東京国際大学(1年)) ● 本間 愛梨 (福島県立田村高等学校(3年)) ● 福田 智里 (金沢学院大学(2年)) <p>レスリング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 皆川 博恵 (クリナップ(株)) | <ul style="list-style-type: none"> ● 榊 流斗 (山梨学院大学(2年)) <p>フェンシング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 平山 裕汰 (福島県立川俣高等学校(3年)) ● 菅野 鈴 (福島県立川俣高等学校(3年)) <p>銃剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 軽部久美子 (陸上自衛隊第6特科連隊) <p>カヌー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青木 瑞樹 (福島県立安達高等学校(3年)) ● 渡辺 愛生 (福島県立安達高等学校(3年)) <p>中学校体育連盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 曲山 純平 (福島大学附属中学校(3年)) ● 佐藤 美空 (福島市立福島第四中学校(3年)) ● 箭内 洸斗 (田村市立船引中学校(3年)) ● 高橋 光貴 (白河市立白河中央中学校(3年)) <p>障がい者スポーツ協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐々木真菜 ((株)東邦銀行) ● 佐藤 智美 ((株)東邦銀行) ● 半谷 静香 (トヨタグループ(株)) ● 吉田 信一 (国立研究開発法人情報通信研究機構) ● 加藤 健人 (アクサ生命保険(株)) |
|---|---|--|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を取った団体

- | | |
|---|---|
| <p>陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行 ● 第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子団体総合 東邦銀行 ● 第68回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行 ● 第104回日本陸上競技選手権大会リレー競技 女子4×100mR 東邦銀行 ● 第104回日本陸上競技選手権大会リレー競技 女子4×400mR 東邦銀行 <p>卓球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第38回全日本クラブ卓球選手権大会 福島卓会 | <p>ラグビーフットボール</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第16回全国小学生タグラグビー選手権大会 安達タグラグビー <p>ウエイトリフティング</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第11回全日本女子選抜選手権大会 団体 高校の部 田村高等学校 <p>銃剣道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第19回全日本短剣道大会 団体戦女子 郡山 |
|---|---|

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 福島陸上競技協会 ● 福島県ソフトテニス連盟 ● 福島県ソフトボール協会 ● 福島県ウエイトリフティング協会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 吉田真希子 ((株)東邦銀行) ● 大槻 三喜 (住友ゴム工業(株)) ● 和田 広 (帝京安積高等学校) ● 小野寺浩亀 (福島県立田村高等学校) | <ul style="list-style-type: none"> ● 福島県フェンシング協会 ● 福島県銃剣道連盟 ● 福島県障がい者スポーツ協会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 廣瀬 了之 (福島県立川俣高等学校) ● 肥塚 克典 (陸上自衛隊第6特科連隊) ● 天下谷真弓 ((株)東邦銀行) |
|---|---|--|--|

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 塩沢スキークラブ
- 田島スポーツ少年団女子ソフトボール部



謝辞 青木 沙弥佳 選手



スポーツ功労賞 大橋 哲男 氏



優秀選手賞(個人) 大槻 麗 選手



優秀選手賞(団体) 紺野 美姫 選手



優秀指導者賞 和田 広 氏



社会体育優良団体賞 塩沢スキークラブ(代表 渡邊秀一 氏)



社会体育優良団体賞 田島スポーツ少年団女子ソフトボール部(代表 稲本 哲治 氏)

スポーツ団体への活動再開を支援する事業

新型コロナウイルス感染症の影響により活動自粛を余儀なくされた県内のスポーツ団体を支援するために、県の支援を受けて下記の事業を実施しました。

	スポーツふくしま・リスタート支援事業	地域スポーツ活動再開支援事業
目的	・スポーツ団体が、感染症対策を講じながら円滑かつ本格的にスポーツ活動を再開できるよう必要な経費を支援する。	・地域のスポーツ活動の中核を担う総合型地域スポーツクラブが、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら活動を再開できるよう支援する。
内容	・活動再開のための必要経費を団体に応じて助成する。	・総合型地域スポーツクラブ活動再開のための必要経費を地区ごと（8地区）に助成する。
対象	・福島県体育協会の加盟競技団体57団体 ・スポーツやレクリエーションを活動目的としたNPO法人72団体 ・58市町村スポーツ少年団本部（県内1,106スポーツ少年団へ） ・県内の総合型地域スポーツクラブ80団体	・地区総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事務局等（8地区） （事務局等を通じ、県内の総合型地域スポーツクラブ80団体へ）

上記のうち、申請のあった各団体へ助成を行いました。本事業を活用された各団体からは、「苦しい状況だったので、とてもありがたい」「コロナに負けず頑張っていく励みとなった」といったお声をいただきました。「福島のスポーツを止めない」ために、本協会では、これからもできることに全力で取り組んで参ります。



～公益財団法人東日本大震災復興支援財団支援事業 公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業～

ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、前年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しています。

【事業の流れ】



第1ステージ ◆ キッズチャレンジ ◆

令和2年度の第1ステージキッズチャレンジは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止しました。例年、5月～6月にかけて県内の小学3年生～6年生を対象に、福島県内5～6会場で開催しています。60名のキッズが選考され、第2ステージクロストレーニングに進みます。

●スポーツキッズの内容(6種目実施)

- 25m走
- 全身反応
- 反復横跳
- 四方向ステップ
- 立五段跳
- 膝立ちボール投げ

●会場・実施日・参加人数

開催地区	実施日	会場	備考
県南	中止	白河市中央体育館	
会津	中止	鶴ヶ城体育館	
いわき	中止	内郷コミュニティセンター	2部制
相双	中止	ならはスカイアリーナ	
県北	中止	福島市南体育館	2部制
県南	中止	西部第二体育館(郡山市)	2部制
1回の定員70～100名とし、6会場9回の実施予定であった			



第2ステージ ◆ クロストレーニング ◆

第2ステージクロストレーニングについても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止しました。例年、第1ステージで選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加します。9月の開始式から活動が始まり、12月の修了式まで多種多様な活動を行います。各種トレーニングの内容については、普段学校の授業ではなかなか触れることのできない競技種目が多く、参加したキッズは目を輝かせながら活動しています。

日程	種目	主管団体
中止	開始式・スポーツマンとして(講話) 体づくり運動・コーディネーション	県体協(外部指導者招聘)
中止	ボート	福島県ボート協会
中止	バスケットボール	福島県バスケットボール協会
中止	体操・トランポリン	福島県体操協会
中止	スキー(モーグル)	福島県スキー連盟

日程	種目	主管団体
中止	フェンシング	福島県フェンシング協会
中止	スポーツクライミング	福島県山岳連盟
中止	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟
中止	スプリントトレーニング 宿泊トレーニング・修了式	県体協(外部指導者招聘)



第2ステージ ◆ 体験プログラム ◆

第2ステージ体験プログラムについても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により中止しました。例年、県内の小学3～6年生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

日程	種目	主管団体
中止	ソフトテニス	福島県ソフトテニス連盟
中止	テニス	福島県テニス協会
中止	アーティスティックスイミング	福島県水泳連盟
中止	ホッケー	福島県ホッケー協会
中止	相撲	福島県相撲連盟
中止	ボクシング	福島県ボクシング連盟
中止	ラグビーフットボール	福島県ラグビーフットボール協会
中止	体操	福島県体操協会
中止	トランポリン	福島県スケート連盟
中止	スケート	福島県ウエイトリフティング協会
中止	ウエイトリフティング	

日程	種目	主管団体
中止	レスリング	福島県レスリング協会
中止	フェンシング	福島県フェンシング協会
中止	銃剣道	福島県銃剣道連盟
中止	セーリング	福島県セーリング連盟
中止	アーチェリー	福島県アーチェリー協会
中止	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟
中止	カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会
中止	カヌー(スラローム・ワイルド ウォーター)	
中止	トライアスロン	福島県トライアスロン協会



第3ステージ ◆ ジュニアサポートプログラム ◆

第3ステージジュニアサポートプログラムは一部の活動を中止としましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら2回のプログラムを実施しました。令和元年度までの小学6年生時に選考された中学1～3年生までのジュニア27名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。今年度は、東海大学の宍戸渉氏を招聘し保護者向けスポーツメンタル講義を実施しました。

日程	種目	主管団体	会場
中止	第1回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	福島市
中止	第1回メディカルチェック②	県体協(外部指導者招聘)	福島市
10月11日(日)	開始式・体幹トレーニング	県体協(外部指導者招聘)	福島市
中止	第2回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	福島市
中止	第2回メディカルチェック②	県体協(外部指導者招聘)	東京都
中止	交流プログラム	県体協(外部指導者招聘)	郡山市
11月23日(祝月)	コーディネーショントレーニング スポーツメンタルトレーニング 保護者向けメンタル講義・修了式	県体協(外部指導者招聘)	郡山市



スポーツふくしまライジングプロジェクト

『トップコーチ養成事業』専門研修Ⅰ

●専門研修Ⅰ メンタルスキル研修

「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰメンタルスキル研修を10月14日(水)13:30よりチェンバおおまち3階A1-2会議室にて行いました。沖和砂(公立大学法人会津大学文化研究センター准教授)氏を講師に招き、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で、県体育協会が指定するトップコーチ5名が参加しました。

今回は『科学的知見を用いた選手のメンタルサポート』を演題に、選手の動機づけ、選手の気持ちを引き出すコミュニケーション、リーダーとしての役割などについて、ペアワークの実践を交えながら沖先生から講義がありました。



沖 和砂氏



ペアワーク



集合写真

●専門研修Ⅰ フィジカルスキル研修

「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰフィジカルスキル研修兼福島県体育協会指導者研修会を12月7日(月)13:30より福島県自治会館3階大会議室にて行いました。

今年も「トップコーチ養成事業」並びに福島県体育協会指導者研修会を合同で開催し、今回は、『女性アスリートへの指導』をテーマに2名の先生方から御講義をいただきました。

講義①では、福島県立福島明成高等学校ウエイトリフティング部顧問の鈴木宗徹氏による『マイナースポーツからの挑戦 ～女子選手の発掘・育成・強化について～』と題し、日々



受講生の様子



鈴木 宗徹 氏



野口 まゆみ 氏

の観察の中での気づきや選手を思いやる気持ち、指導者として常に学ぶ姿勢の大切さ等のお話をいただきました。

講義②では、西口クリニック婦人科院長の野口まゆみ氏より、『女性アスリートの特性と健康支援 ～さらなるパフォーマンス向上をめざして～』と題し、女性アスリートへ指導する際の医学的な見地からの留意点、コンディショニングにおける体調把握の重要性、アンチ・ドーピングに関わる内容等の講義をいただき知識を深めることができました。

●専門研修Ⅰ コーチングスキル研修

「トップコーチ養成事業」専門研修Ⅰコーチングスキル研修を令和3年2月15日(月)13:30より、事務局会場をコラッセふくしま4階403会議室にて本研修としては初のリモート研修会として行いました。

コロナ禍や地震の影響により開催が危ぶまれましたが、昨年度から引き続き、筑波大学客員教授の勝田隆先生から、『誰もが経験したことのない状況において～「今」と「未来」について向き合う～』との演題で御講義をいただきました。

リモートによる開催ではありましたが、トップコーチの皆様と対話型の講義形式で行われ、今まさに直面しているコロナ禍の状況下であっても、「今」だからこそ、「スポーツの教育的価値」の在り方やその有用性について考え、活かして行くことが重要であると御講義いただきました。

今回の研修を通して、日々、様々な対応を求められている時代の中で、トップコーチとして、「今」と「未来」を見つめ、多様な状況と真摯に向き合う視点や感性等を身に付ける一助となることを願っています。



リモート研修会の様子

『ふくしまゴルフプロジェクト』

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高等学校出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成事業」を実施しました。

高等学校出前講座

高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施して、ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組みました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習を通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学ぶこともできました。

【令和2年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校】



福島県立安達高等学校



福島県立安達高等学校



福島県立光南高等学校



福島県立光南高等学校



福島県立田村高等学校



福島県立田村高等学校



西郷村立川谷小学校



西郷村立川谷小学校



西郷村立川谷小学校



もとみやスポーツネットワーク



もとみやスポーツネットワーク



もとみやスポーツネットワーク

スナッグゴルフ教室

子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

【令和2年度実施団体：西郷村立川谷小学校、もとみやスポーツネットワーク】

ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和2年度は、県南地区の小学生、中学生16名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。



指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図って参ります。

親子体操教室&指導者養成講習会

in 会津若松市

元気に楽しく体を動かして子どもの基礎体力づくりを学ぼう!

令和2年10月25日(日)、会津若松市の鶴ヶ城体育館において、テレビでお馴染みの体操のお兄さんこと、佐藤弘道氏を講師にお迎えし、生涯スポーツキャンペーン2020「親子体操教室&指導者養成講習会」を開催しました。佐藤氏には、2007年開催の第1回目から14年連続で本県に足を運んでいただいております、福島の子もたちとのふれあいを今回もとても楽しみにしていただいております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が危ぶまれましたが、エスアールシーカンパニーの御協力のもと感染拡大防止対策を徹底し、募集人数を少なくするなどして開催することができました。親子体操教室には36組102名の親子が参加し、指導者養成講習会には幼児教育に携わる38名の方々が参加しました。また、昨年度に引き続き、株式会社福島放送(KFB)の山崎聡子アナウンサーに司会・進行役を務めていただき、和やかに会を進めることができました。

今回参加していただいた親子の皆様には、家庭でも親子体操を実践し、家族のふれあいや健康づくりに役立っていただければ幸いです。また、指導者の皆様には、今回学んだ指導法を実践され、日々の現場で関わる子どもたちに、遊びながら身体を動かす楽しさを伝え、子どもたちの基礎体力向上に繋げていただければと思います。なお、抽選により今回参加することができなかった親子の皆様におきましては、来年も申込みいただき、ぜひ親子体操を体験する機会を作ってくださいようお願いいたします。

終わりに、快く出演を引き受けるとともに、たくさんの笑顔と深い学びを提供していただいた佐藤弘道氏と関係者の皆様、本当にありがとうございました。福島県体育協会は、これからも本県の子もたちに、運動をすることがもっともっと好きになってもらえるよう幼児体操や親子体操の普及、指導者養成に力を入れていきたいと思っております。



親子体操教室編

午前の親子体操教室では、周りソーシャルディスタンスを保ちながら、音楽に合わせて元気一杯に身体を動かし、楽しく運動する親子の姿が見られ、あっという間の1時間でした。親子で楽しく運動をすることを通して、親子のふれあいを深めるとともに、体力向上や健康増進を図るとてもよい機会となりました。



指導者養成講習会編

午後の指導者養成講習会では、医学博士の資格を持つひろみちお兄さんから子どもの基礎体力の高め方を主とする運動・健康に関する専門的な知識について学んだり、テンポのよい軽快な音楽に合わせて笑顔で楽しくダンスに取り組んだりしました。参加者は、佐藤氏の講話に真剣に耳を傾け、積極的に体を動かすことで、子どもたちが遊びながら運動能力を向上させたり、運動への興味・関心を高めたりすることができる指導法を数多く学ぶことができました。



あそんで 体力アップアップ事業

幼児体操教室編

本協会では毎年、公益財団法人東日本大震災復興支援財団支援事業の一環として、あそんで体力アップアップ事業「幼児体操教室」を実施しています。今年で5年目となる本事業は、今年新型コロナウイルス感染症の影響によりスタートが遅れたものの、感染拡大防止対策を講じながら9月上旬～1月下旬までの期間で合計17回の幼児体操教室を実施することができました。

本教室は、国公立の幼稚園、保育園、認定こども園及び子育て支援センターの未就学児を対象に「幼児期において、遊びを中心とする身体活動を十分にを行い、多様な動きを身に付けながら体力の向上を図る」とともに、「生涯にわたって健康を維持し、何事にも積極的に取り組む意欲を育むなど、豊かな人生を送るための基盤づくりを進める」ことを目的としています。以下の5つの団体がさまざまな運動プログラムを用意し、各園ではその中から目的に応じたプログラムを選び、子どもたちの実態に合わせた内容で実施しました。

これまでの幼児体操教室では、子どもたちの普段の生活ではできない様々な運動を体験することができました。どの団体の活動でも、子どもたち一人一人がたくさんの汗をかき、元気に楽しく運動できました。「楽しい!」「もっとやりたい!」など、子どもたちの喜ぶ声とまぶしい笑顔が見られ大盛況でした。園からは「また、来年もやりたい」「プログラムを工夫して普段でも実施してみたい」との声も多くいただきました。この活動をきっかけに、身体を思いきり動かしながら楽しく運動する子どもたちがさらに増えていくことを願います。



実施団体と
主なプログラム内容

- ① 株式会社こども体育研究所…………… 手足を使った運動や投・跳運動、マット運動等
- ② 特定非営利活動法人福島県レクリエーション協会…………… 忍者や変身ごっこ等の模倣運動等
- ③ 福島県エアロビック連盟…………… 声を出しながら音楽に合わせて思いきり体を動かす運動等
- ④ ダンススタジオViVid…………… 今、流行の曲でHIPHOPを楽しく踊る運動等
- ⑤ 福島ファイヤーボンズチアダンススクール…………… ボンボンを持ってリズムに合わせて踊る運動等



指導者養成講習会編

本事業では、未就学児を対象とした「幼児体操教室」と併せて、幼児教育に携わる指導者を対象とした「指導者養成講習会」も実施しています。

こちらは、子どもたちが遊びながら運動能力を伸ばし、スポーツへの興味・関心を高めることができるよう、指導者自身のさらなる指導力向上を図る目的で行われています。

本講習会は国公立の幼稚園・認定こども園・保育所の指導者並びに幼児教育を志す学生、スポーツ少年団・総合型地域スポーツクラブ等の指導者ならどなたでも参加でき、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策を適切に講じながら、第1回は9月26日(土)に福島市のNCVふくしまアリーナ(参加者14名)、第2回は10月25日(日)に会津若松市の鶴ヶ城体育館(参加者38名)、第3回は11月7日(土)にいわき市の新舞子体育館(参加者11名)の県内3会場で開催しました。

講師には、第1回は株式会社こども体育研究所福島支部の松本英将氏、第2回は有限会社エスアールシーカンパニーの佐藤弘道氏、第3回は足利短期大学こども学科准教授の小野覚久氏をお迎えし、それぞれ講義と実技講習を行っていただきました。講義では幼児期の発育・発達段階や身体能力に応じた運動の取り寄せ方の工夫や、子どものやる気を引き出すコミュニケーションスキルについてなど幅広い知識を学ぶとともに、実技講習では遊びを取り入れた運動、園や身近にある用具を用いた運動、音楽やリズムに乗って楽しく踊る運動などを体験しました。

参加者の皆さんは楽しく笑顔で運動したり、メモをとりながら耳を傾けたりと、熱心に自己のスキルアップに取り組む姿が見られました。

今後は、本講習会で学んだ知識や技能を日頃の指導に活かしながら、本県の次世代を担う子どもたちの体力向上や運動能力向上のために、さらに指導力を高めていただきたいと思います。本協会では、今後も指導者養成講習会を通じ、指導者のスキルアップ向上を支援して参ります。



第1回指導者養成講習会(NCVふくしまアリーナ)



第2回指導者養成講習会(鶴ヶ城体育館)



第3回指導者養成講習会(新舞子体育館)

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢（発育発達段階）や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域17種類の資格者を養成しています。

公認スポーツ指導者資格の種類

「公認スポーツ指導者」だからこそ、できる

① **スポーツ指導者基礎資格**
・コーチングアシスタント
(スポーツリーダー)

③ **メディカル・コンディショニング資格**
・スポーツドクター
・スポーツデンティスト
・アスレティックトレーナー
・スポーツ栄養士

② **競技別指導者資格**
・スタートコーチ
・コーチ1(旧 指導員)
・コーチ2(旧 上級指導員)
・コーチ3(旧 コーチ)
・コーチ4(旧 上級コーチ)
・教師
・上級教師

④ **フィットネス資格**
・フィットネストレーナー
・スポーツプログラマー
・ジュニアスポーツ指導員

⑤ **マネジメント指導者資格**
・アシスタントマネージャー
・クラブマネージャー



上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関する、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネージャー養成講習会の運営、スポーツ少年団でスタートコーチ養成講習会(昨年度まではスポーツリーダー及び認定員養成講習会)の運営を行っています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの養成講習会が中止を余儀なくされたものの、各競技団体との連携のもと、コーチ1養成講習会を実施することができました。今年度は、ソフトテニス、バドミントン、山岳の3競技で開催し、計19名が受講しました。受講者はいずれも資格取得を目指して、大変意欲的に学んでいました。ぜひ無事に資格を取得され、より幅広く社会に貢献できる地域スポーツ指導者として活躍されることを期待しています。



ソフトテニス



バドミントン



山岳

令和3年度公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会について

令和3年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに5月上旬に掲載予定です。

コーチ1(1競技)：山岳 コーチ2(2競技)：ソフトテニス・水泳

*公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会の「指導者マイページ」に掲載されています。ぜひ、「指導者マイページ」の登録をお願いします。(登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。)

アンチ・ドーピング教育・啓発事業

本協会は、スポーツ医・科学委員会や福島県スポーツファーマシスト協会と連携しながら、アンチ・ドーピングに関する教育や啓発活動を実施し、アスリートがフェアプレイ精神のもと競技力を発揮できるように取り組んでいます。

◎リーフレットの作成と配布

本協会では、アンチ・ドーピング啓発活動の強化を図るため、毎年リーフレットを作成しております。アンチ・ドーピングやスポーツファーマシストに関する情報をより手軽に入手できるよう、JADA(日本アンチドーピング機構)やJSPO(日本スポーツ協会)のQRコードを掲載しております。作成したリーフレットは、加盟競技団体等へ配布し、研修会で活用していただくなど、アンチ・ドーピング教育・啓発活動に努めております。
*リーフレットは本協会のホームページからもダウンロードできます。



◎各競技団体との連携

令和2年12月、福島県体育協会41加盟団体指導者を対象にした「国体に向けたアンチ・ドーピング教育」を18団体の出席のもと実施しました。本協会スポーツ医・科学委員の野口まゆみ氏を講師として迎え、「選手を守る」という観点からもアンチ・ドーピング教育は不可欠であり、継続すべきものである」と伝えられました。

また、加盟団体には、情報量が少ない少年種別を中心に強化合宿や大会等の余暇時間を活用して「アンチ・ドーピング研修会」を実施するよう働きかけ、実施後は報告書の提出も合わせてお願いしています。



国体に向けたアンチ・ドーピング教育の様子

令和2年度 福島県スポーツ指導者研修会（更新研修会）

福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会（更新研修会）を実施しています。この研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会の公認スポーツ指導者資格を更新するための研修も兼ねており、今年度は第1回を浜通り地区、第2回を全県（県中地区）で開催しました。

令和2年度福島県スポーツ指導者研修会
第一回浜通り地区研修会・第二回全県研修会

- 開催日**：第1回 令和2年11月21日（土）
：第2回 令和2年12月20日（日）
- 場所**：第1回 ナショナルトレーニングセンター J-VILLAGE
：第2回 郡山ユラックス熱海
- 参加者**：第1回 48名 ・ 第2回 91名
- 内容**：・スポーツ指導方法「暴力・反倫理的行為の根絶のために」
・中高年のための運動プログラム～健康寿命延伸への福島県民の健康づくり～
- 講師**：会津大学短期大学部講師 渡部 琢也 氏
足利短期大学こども学科准教授 小野 覚久 氏



①渡部 琢也 氏

②小野 覚久 氏

本講習会は、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、昨年度より人数を制限して実施しました。はじめに大塚製薬株式会社から、「スポーツと免疫力」についての情報提供があり、水分補給の重要性や熱中症予防対策などについて専門的な知識について話がありました。

講義ではまず、指導者としての規範意識の持ち方や暴力・反倫理的行為の根絶のための指導者としての在り方について講師の体験を交えながら分かりやすく説明がありました。次に、渡部 琢也氏から「体組成の知識を用いた中高年の運動プログラム」について、小野覚久氏より「コーディネーショントレーニングの必要性・導入方法や実践のポイントについて」の講話がありました。さらには、ハイインパクトトレーニングやスロートレーニング、コーディネーショントレーニングなどの運動プログラムについて、実際に身体を動かしながら実技講習を行いました。



講習会の様子

参加された指導者はいずれも、資格の更新のためだけでなく、自分自身の指導力向上につなげようとする積極的に学んでいました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴う2021年10月1日付更新登録に関する取り扱いについて

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大を受け、日本スポーツ協会より特例措置が出されています。該当する方は日本スポーツ協会のホームページを御確認ください。

※下記は日本スポーツ協会HPから抜粋

対象者 **資格有効期限**：2021年9月30日 **資格の種類**：以下枠内の資格・競技を除くすべての資格・競技

【対象外の資格・競技】 競技別指導者資格 [水泳、サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、空手道、エアロビク（コーチ4のみ）、プロテニス、プロスキー、スクーバダイビング]、スポーツドクター、スポーツデンティスト、アスレティックトレーナー、スポーツ栄養士、クラブマネジャー

※資格を複数保有している方は、資格によって要件が異なる場合があります。

対応

上記の対象者については、所定の更新研修の受講状況に関わらず、2021年10月1日付の登録手続きの対象となります。

▷詳細は、こちら <https://www.japan-sports.or.jp/coach/news/tabid884.html?itemid=4209>

日本スポーツ協会公認
スポーツ指導者資格関連情報

スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により相談員・講師を派遣しています。また、FAXやメールによる相談も受け付けています。

相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、スポーツ栄養士部会員、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響より、例年より実施回数や実施規模は縮小となりましたが、感染拡大防止対策を講じながら8月からスタートし、2月下旬までで計18回実施することができました。講義内容では、「筋力トレーニング」「スポーツマッサージ」「テーピング」「スポーツと栄養」「スポーツ心理学」に加え、今年度は「女性に対するスポーツ指導」についての講義依頼もありました。令和3年度も本事業は継続して実施しますので、ぜひ御気軽に御相談ください。



活動の様子の例



- 開催日** 8月15日（土）
依頼団体 福島県立葵高等学校サッカー部
場所 葵高等学校松操会館
テーマ 「テーピング講習会」
講師 菊地 真人 氏
参加者 13名（高校生）



- 開催日** 12月16日（水）
依頼団体 あだちスポーツクラブ
場所 二本松市渋川住民センター
テーマ 「スポーツと栄養」
講師 武藤 真紀 氏
参加者 16名（地域のスポーツ指導者等）

講師派遣の内容例

- 講義**
- スポーツ外傷・障害の基礎知識
 - スポーツと栄養
 - アンチドーピング
 - スポーツ心理学
 - けがの応急処置 など
- 実技**
- ストレッチ
 - ウォーミングアップ・クールダウン
 - スポーツテーピング
 - スポーツマッサージ
 - 筋力トレーニング（体幹トレーニングなど）

【申し込み方法】

相談員・講師の派遣を希望する場合は、下記の連絡先まで御連絡ください。（講師に係る経費は本協会が負担します。）

また、過去の相談例、派遣依頼の様式等は本協会HPでもご覧いただけます。（公財）福島県体育協会 TEL：024-521-7896 FAX：024-521-7971

E-mail：info@sports-fukushima.or.jp

URL：https://www.sports-fukushima.or.jp/

※来年度は「女性に対するスポーツ指導」を追加予定です。

令和2年度公益財団法人福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

この講習会は、競技者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する県体協認定アスレティックトレーナーを養成することを目的として、隔年で開催しています。

- 1 受講条件 (1)受講する年の4月1日現在、満20歳以上の方
 (2)競技団体のトレーナーやアドバイザー等、現場の活動経験がある方
 (3)本協会加盟競技団体等から推薦された方のうち、認定後は本協会事業に積極的に協力・活動する意志のある方
 (4)本協会スポーツ医・科学委員会から承認された方

2 参加者 11名

受講者は、理学療法士や作業療法士、柔道整復師や鍼灸・マッサージ師等の資格を取得され、病院や接骨院などの医療機関等に従事されており、自分自身もスポーツを経験されている方がほとんどです。今後、福島県のスポーツ界及びスポーツ医療の推進に高い志を持ち、本協会認定のアスレティックトレーナーとして活動するために本講習会を受講しました。

3 講師・内容

【1日目 11月28日(土)】

- 福島市男女共同参画センター「ウイズもとまち」
- (1)堀川 哲男先生(県体協スポーツ医・科学委員長)
「アスレティックトレーナーの役割」
- (2)中澤 謙先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「スポーツ科学」
- (3)佐藤 善嗣先生(福島県スポーツファーマシスト協会
スポーツファーマシスト)
「アンチ・ドーピング」
- (4)野口 まゆみ先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「女性アスリートの特性」
- (5)吉田 仁郎先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「スポーツ外傷・障害の基礎知識」



(1)堀川 哲男先生



(2)中澤 謙先生



(3)佐藤 善嗣先生



(4)野口 まゆみ先生



(5)吉田 仁郎先生



(6)渡邊 和之先生



(7)武藤 真紀先生



(8)沖 和砂先生



(9)鬼澤 武則先生



(10)水野 兼志先生

【2日目 11月29日(日)】

- 福島市男女共同参画センター「ウイズもとまち」
- (6)渡邊 和之先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「検査・測定と評価」
- (7)武藤 真紀先生(日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士)
「スポーツと栄養」
- (8)沖 和砂先生(会津大学文化研究センター准教授)
「スポーツ心理学」
- (9)鬼澤 武則先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「予防とコンディショニング」
- (10)水野 兼志先生(県体協スポーツ医・科学委員)
「スポーツ障害(内科的障害)」

本講習会は専門科目の集合講習となり、アスレティックトレーナーに必要な基礎的な知識を身に付けるために、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー・スポーツドクター・スポーツ栄養士、福島県スポーツファーマシスト協会所属のスポーツファーマシスト、県体協スポーツ医・科学委員の10名の講師の先生方に様々な角度から講義をしていただきました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実技は実施しませんが、受講者は熱心に講師の話に耳を傾け、疑問点を質問するなど積極的に取り組みました。

スポーツ医・科学委員長の堀川先生からは、「日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格習得のハードルは高いが、経験を積みスキルを高め、ぜひ日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーを目指してほしい。」「ドクター・ファーマシスト・栄養士・トレーナーは、チームとなり選手や団体を支えることが大切である。医科学サポートの一員として協力・連携を大切にしながら活躍してほしい。」と、受講者に向けて話がありました。

受講者は例年、3月のアスレティックトレーナー部会で正式認定となります。コロナ禍で各活動が制限されていますが、状況に応じてアスレティックトレーナー部会の活動やスポーツ医事・トレーニング相談事業、各種研修会等、本県の競技力向上や生涯スポーツの振興に協力いただきたいと思います。



真剣に講義を受ける受講者の様子

令和2年度福島県スポーツ少年団の登録状況

令和2年度の福島県スポーツ少年団の登録状況は次のとおりです。

登録団数	指導者数	役員数	スタッフ数
965団	4,158名	279名	1,738名

団員数計18,021名

◇男子

幼児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
115名	2,672名	6,716名	2,191名	189名	11,883名

◇女子

幼児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
65名	1,394名	3,180名	1,331名	168名	6,138名

令和2年度日本スポーツ少年団顕彰

◇表彰登録指導者（6名）

No.	支部名	氏名	所属団体名（市町村）
1	県北	佐藤 憲雄	月輪スポーツ少年団(福島市)
2	県中	渡辺 祐一	都路スポーツ少年団(田村市)
3	会津	鈴木 敏	猪苗代少年柔道会スポーツ少年団(猪苗代町)
4	会津	杉山 雅孝	城西スキースポーツ少年団(会津若松市)
5	相双	伏見 文芳	原町コスモ体操スポーツ少年団(南相馬市)
6	いわき	水竹 信子	サンシャインACスポーツ少年団(いわき市)

◇表彰市区町村（1町1村）

No.	支部名	市町村名	設置年	本部長名
1	会津	湯川村	1982年	小林 信房
2	南会津	下郷町	1979年	佐藤 翔

◇感謝状贈呈者（1名）

No.	市町村名	氏名	年齢	最終所属団体/役職	種目	経歴
1	郡山市	橋本 幸一	75歳	多田野野球スポーツ少年団 福島県スポーツ少年団県中支部長	野球	40年

令和2年度福島県スポーツ少年団表彰

◇功労者表彰（7名）

No.	支部名	氏名	所属団体名（市町村）
1	県北	石橋 良則	本宮ミニバスケットボールスポーツ少年団
2	県中	小林 春夫	須賀川牡丹ソフトボールスポーツ少年団
3	会津	渡部多賀子	会津なぎなたスポーツ少年団
4	会津	荒木 栄子	会津なぎなたスポーツ少年団
5	南会津	齋藤 成	南郷スポーツ少年団
6	相双	今泉 春雄	双葉町スポーツ少年団
7	いわき	草野 一夫	泉陸上スポーツ少年団

◇優良団体表彰（7団体）

No.	支部名	団体名（市町村）	代表指導者
1	県北	飯野フレンズスポーツ少年団(福島市)	林 正直
2	県北	1995二本松フットボールスポーツ少年団(二本松市)	倉田 泰明
3	県中	三春サッカースポーツ少年団(三春町)	川田 直樹
4	県中	郡山少年ラグビースクールスポーツ少年団(郡山市)	小川 徹
5	県南	矢祭ソフトテニススポーツ少年団(矢祭町)	金澤 由勝
6	相双	小高剣道スポーツ少年団(南相馬市)	佐藤 美和
7	いわき	泉バレーボールスポーツ少年団(いわき市)	菅野 裕

令和2年度からスポーツ少年団の登録区分等が変わりました

1 スポーツ少年団の登録区分について

単位スポーツ少年団における主な活動内容ごとに、「団員」「指導者」「役員」「スタッフ」の4つの登録区分が設けられます。

	単位団における主な活動		
	スポーツをする	スポーツの指導をする	団運営に関わる
JSPO公認 スポーツ指導者資格有	団員	指導者 ※公認指導者資格保有者	役員・スタッフ ※育成母集団(保護者会等)の構成員は登録することが望ましい。
JSPO公認 スポーツ指導者資格なし			

2 単位スポーツ少年団の登録条件について

(1) 単位団：原則として団員10名以上、指導者2名以上で構成し、以下の2つの条件を満たすことが必要。

①「スポーツ少年団の理念」を学んでいる指導者が2名以上登録していること。

※「スポーツ少年団の理念」の普及、「理念」に添った活動を行うために「理念」を学んだ指導者の複数配置を必須とする。

②20歳以上の「指導者」・「役員」・「スタッフ」が2名以上登録していること。

※子どもを預かることの責任の観点から、成人(20歳以上)の複数配置を必須とする。

(2) 指導者：登録年度4月1日現在、満18歳以上のJSPO公認指導者資格を保有している者。

(3) 団員：4月1日現在、満3歳以上の者。

「スポーツ少年団の理念」を学んでいる指導者とは

- 令和元年度スポーツ少年団認定育成員
- 令和元年度スポーツ少年団認定員
- スタートコーチ(スポーツ少年団)

令和3年度緩和措置(福島県独自)

令和2年度スタートコーチ養成講習会が開催されていないことや、新型コロナウイルス感染症防止のため三密にならない活動をするよう指導していることもあり、令和3年度につきましては要件に満たない団がある場合でも特例として、スポーツ少年団の理念を学んだ指導者又はスタートコーチ(スポーツ少年団)取得見込みの方が1名いれば、団員が10人未満でも登録を認めることとします。

指導者・講師派遣補助事業(ふくしま広域スポーツセンター)

1 目的

総合型地域スポーツクラブ(以後クラブ)の活動状況や運営状況等のニーズに応じた指導者や講師を派遣することにより、クラブの活動充実と自立支援の促進を図ることを目的とします。

2 事業内容

県内外の指導者等を派遣します。この事業に係わる経費は本センターが負担します。

- 例1) 現在開催している教室の指導者の資質向上や会員のレベルアップを図りたいと考えているクラブへ指導者を派遣します。
- 例2) 次年度に向けて新規教室開設を考えて準備を進めているクラブへ指導者を派遣します。
- 例3) クラブ運営に関する研修会の内容に合わせて、講師を派遣します。

3 令和2年度派遣の実際(一部掲載)

派遣要請クラブ	ひらたスポーツクラブ
開催日	令和2年9月5日(土)
場所	旧蓬田中学校体育館
派遣指導者	石井 勝義 氏
内容	剣道講習会
今後の方向性	スポーツ少年団、中学校部活動への講習会により、技術の向上を図ると共に村スポーツ環境の向上に貢献する他団体との連携を深め、今後のクラブ事業の充実を図る。



派遣要請クラブ	NPO法人たまかわ元気スポーツクラブ
開催日	令和2年9月14日(月)、令和3年2月22日(月)
場所	玉川村保健センター
派遣指導者	佐々木 久美子 氏
内容	いきいき教室(高齢者教室)
今後の方向性	80歳から90歳代の方を対象に指導。現在は委託事業であるが、今後クラブの独自教室として開催したい。



派遣要請クラブ	スポーツクラブ仲間
開催日	令和2年12月7日(月)
場所	白河第一市民体育館
派遣指導者	伊達 孝浩 氏
内容	パラスポーツポッチャ体験教室
今後の方向性	高齢者や運動が苦手な人でも参加できる教室の提案として、パラスポーツポッチャの教室を開催。パラリンピックの種目でもあるので、今後も普及活動をしたい。



派遣要請クラブ	一般社団法人にほんまつ城山クラブ
開催日	令和3年1月22日(金)、令和3年2月5日(金)
場所	二本松市民交流センター
派遣指導者	田中 俊也 氏
内容	バレトンの指導
今後の方向性	成人対象(20歳~60歳)の教室として開催し、会員増加につなげたい。次年度以降の事業に取り入れ、年間を通したサークルに発展させたい。



派遣要請クラブ	NPO法人ただみコミュニティクラブ
開催日	令和3年2月26日(金)、令和3年3月3日(水)
場所	只見町立明和小学校体育館
派遣指導者	設楽 力 氏
内容	サッカー教室
今後の方向性	サッカー指導者のスキルアップ及び子どもたちはサッカーの基礎技術を学ぶことにより、スポーツ活動の幅を広げ、今後のサッカー事業における指導者育成の基盤構築に役立てたい。



みんなでスポーツ！元気でたのしく！

特定非営利活動法人 たまかわ元気スポーツクラブ



未就学児から80代の方が会員になっています！



手指の消毒・健康チェックシートの記入にご協力いただいています

当クラブはスポーツを通じた健全な心身の維持・育成と心豊かな地域コミュニティの実現を目的に平成15年に石川郡玉川村に発足され、平成29年には法人格を取得し、現在の「特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ」となりました。

現在通年教室11種目（フラダンス、ランニング教室etc）、短期教室やイベント（トレッキング、カローリング大会etc）を展開しており、未就学児からお年寄りまで広い年代の方に会員になっていただいています。また自主事業の他、行政から物品管理やウォーキング事業などの委託も請け負っています。

コロナ禍でも地域でできるスポーツを

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事業の休止を余儀なくされた期間もありました。活動を自粛する参加者も多く、参加人数は令和元年度の6割程度にとどまっています（1月末現在）。活動再開後も「今まで通りの活動」とはいかず、開催時間の短縮や事業内容の一部変更のほか、健康チェックシートの提出やこまめなアルコール消毒など、「新しい生活様式」を取り入れて活動しています。

コロナ禍で活動していく中で行政関係者、参加者の事業に対する理解と協力、そして地域の方々との関わりに救われることが多く、地域の皆様の支えがあってこそこのクラブだと切に感じた1年間でした。

来年度もクラブ事業に楽しく・安心して参加してもらえよう環境を整えて、玉川村及び近隣町村のスポーツの発展と、皆様の健康維持・生きがいの創出に寄与していきたいと思えます。

現在取り組んでいる対策

- ・会話時のマスク着用をお願い
- ・こまめなアルコール消毒
- ・こまめな換気
- ・毎回「健康チェックシート」の提出（体温・体調など）
- ・1回の参加人数を減らして開催
- ・対面する場面を避ける（ダブルス⇒シングルスなど）
- ・講師へポータブルスピーカーの貸与
- ・注意喚起クリアファイルの配布

特定非営利活動法人 たまかわ元気スポーツクラブ

問合せ

住 所 〒963-6312
福島県石川郡玉川村小高字大谷地71（たまかわ文化体育館内）

TEL 0247-57-7371 **FAX** 0247-57-7371

福島県
ゆかりの

オリンピック・パラリンピアン等からの メッセージ動画配信

東京2020オリンピック・パラリンピックの開幕1年前（オリンピック7月23日（木）／パラリンピック8月24日（月））に合わせて、オリンピック・パラリンピアンや東京2020大会代表内定選手など、福島県ゆかりの方々から県民に向けたメッセージ動画を県の東京2020ポータルサイト「ふくしまプラス2020」で発信しました。バドミントン競技の桃田賢斗選手を始め、代表内定選手の宮田悠佑選手（カヌー競技）や皆川博恵選手（レスリング競技）、佐々木真菜選手（パラリンピック陸上競技）ら18人からメッセージが寄せられ、2度目のオリンピック出場となる新田祐大選手（自転車競技）からは「（県民の）皆さんに勇気や元気を伝えられるような走りをして、世界の頂点を目指して頑張っていきたい。」との意義込みが語られました。

また、オリンピック開幕200日前となった1月4日（月）には、一般社団法人日本プロ野球選手会の協力を得て、松田宣浩選手（福岡ソフトバンクホークス）や菅野智之選手（読売ジャイアンツ）など、プロ野球全12球団の選手から県民に向けたメッセージ動画を発信しました。

東京2020大会に向けた皆さんの熱いメッセージをぜひ御覧ください！



福島県ゆかりのオリンピック・パラリンピアン等からのメッセージ動画



メッセージ動画はこちら
（ふくしまプラス2020）



野球・ソフトボール競技の県内開催PR動画



プロ野球選手からのメッセージ動画

あづま総合体育館前広場に 「オリンピックシンボル大型花壇」を設置

開催日 令和2年5月15日（金）～9月14日（月）

会場 あづま総合体育館前広場

5月15日（金）、オリンピックシンボル（五輪マーク）をモチーフにした大型花壇をあづま総合体育館前広場に設置しました。東京オリンピックの野球・ソフトボール競技の開催都市である福島市内の福島明成高校の生徒の皆さんが心を込めて育てた草花を使用し、1か月ごとに季節に応じた草花へ植え替えを行いながら、9月14日まで展示をされました。

同校生物生産科3年の齊藤晴香さんは「大会が延期になってしまったことに悔しい気持ちもあります。しかし、この状況でストレスを抱えている人達が、ここに咲いている花々で少しでも元気になっていただければ嬉しいです。」と話すなど、想いのこもったオリンピックシンボルの草花であづま総合運動公園を彩りました。



オリンピックシンボル大型花壇



福島明成高校生徒の皆さん

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体 特別会員》

会津商工信用組合 (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) (株)岡部 (株)オノヤスポーツ (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)クリーンテック (株)グレイス福島 (医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場	(株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命保険(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス 東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株)	東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 福島商事(株)	(株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)民報印刷 (株)モリヨシ技研 山木工業(株) (株)ヨークベニマル 若松測量設計(株) ※他に匿名希望3法人・団体
--	---	--	--

《法人・団体会員》

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アポロガス あんしんFPふおあさいと (株)安藤組 磐城通運(株) (株)ウェディングエルティ 内池醸造(株) (株)海老名建設 FSGカレッジリーグ (株)エフエム福島 (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ (株)グラコム	(株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) さかい動物病院 (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (有)三共印刷所 (株)サンライイト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会	(株)東北装美 東北電力ネットワーク(株)福島電力センター (株)中里工務店 にいの運送(有) 西会津工業会 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 (有)野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 ファーストヘルステック(株) (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポーツランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 福島リコピー(株) (株)福南電気	(株)フジゴルフガーデン (公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (株)Best Business Partners (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)九福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株)友愛 (株)ラジオ福島 (株)ル・プロジェクト ワイザーエル(株) ワタナベカーバット(株) ※他に匿名希望6法人・団体
--	--	---	--

《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏

《個人 会員》

阿 部 正 美 安 藤 喜 勝 大 十 嵐 義 大 橋 哲 男 砂子田 敦 博 伊 藤 隆 秀 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 野 日 喜 木 村 喜 八 郎 国 井 裕 一 小 杉 誠 之 小 山 信 太 郎 齋 藤 久 男	坂 本 孝 夫 佐 久 間 弘 次 櫻 井 朋 次 佐 藤 一 男 佐 藤 弘 昌 佐 藤 昌 志 穴 戸 正 幸	柴 野 照 夫 下 山 好 浩 鈴 木 千 賀 子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博 滝 田 孝 志 富 田 隆 太 郎 永 井	長 岐 博 中 島 茂 新 井 田 宣 花 井 安 紀 花 安 紀 夫 平 石 治 彦 廣 谷 秀 隆	博 典 大 明 夫 星 星 星 堀 田 川 哲 堀 班 井 本 松 松 水	香 本 文 満 里 薫 男 雄 森 結 米 渡 正 吉 崎 城 沢 邊 正 吉 俊 勝 修 正 吉 緒 夫 志 仁 吉
--	--	---	--	---	---	--

(令和3年2月16日現在) (敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
- 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp/>

問合せ

〒960-8043 福島市中町8番2号
福島県自治会館6階

公益財団法人 福島県体育協会

電話 024(521)7896

FAX 024(521)7971

E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

オリンピックイヤーとなるはずだった令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、日本のみならず世界中で様々な困難に直面し、スポーツ界にとっても、各種大会の延期や中止、運動自体ができない状況が続き、トップアスリートだけではなくスポーツに親しむ私たち一人一人のスポーツライフにまで多大な影響が及びました。しかしながら、そんな状況でも前を向き、様々な感染症対策を講じながら、少しずつスポーツ活動が再開され、改めてスポーツの持つ力、スポーツの価値に気づかされた年でもありました。本協会でも事業の中止や延期はありましたが、「今できることをする」べく、創意工夫しながら事業を実施して参りました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症が終息に向かい、日本のみならず世界においてよりよいスポーツライフが実現されることを切に願います。同時に、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無事に開催され、一人でも多くの本県関係選手が出場し、県民の皆様へ元氣と勇気と感動を与えるような素晴らしい活躍が見られることを楽しみにしています。本協会でも、本県関係選手の活躍する様子等をホームページに掲載し、少しでも多くの県民の皆様にお伝えできるようにして参ります。加えて、オリンピック後のさらなるスポーツ振興を目指し、今後も様々なスポーツ情報を提供すべく一層の努力をして参ります。引き続き本協会事業及び賛助会に対する変わらぬ御理解と御協力をお願いします。

スポーツ安全保険[®]

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故



保険期間

令和3年4月1日午前0時から
令和4年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	事故の日からその日を含めて180日以内			
						入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) <small>※特別支援学校 高等部の生徒を含む</small>	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同額	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) <small>※右記年齢の判断は、「令和3年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。</small>	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠️ 自動車事故によって賠償責任を負った場合は、補償の対象なりません。	180万円
		B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 <small>※スポーツ活動中の事故は補償の対象なりません。</small>	A2 A2区分は65歳以上の方も加入できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

TEL 024-526-4600 電話受付時間 午前9時~12時 午後1時~5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。

スポーツ安全保険 検索



この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎ 0120-233-801
(平日9:00~17:00)

〈共同引受保険会社(令和3年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保